

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.7, No.4 1995.11.18

Iwate Macintosh Funclub

### お詫び

前号では、会員名簿など不手際があり、会員の皆様にはたいへんご迷惑をおかけいたしました。急遽、正誤表を作成して、郵送には間に合いましたが、例会で受け取った方には届かずじまいでした。申し訳ありませんでした。

### 役員変更

さて、その正誤表でも報告しておりましたが、今まで会計と会員管理という大変な仕事を引き受けていただいていた工藤 聡(くどう さとし)さんが日本の西海岸に転勤になったため、この仕事を笹川 順子(ささがわ よしこ)さんに引き継いでいただきました。

工藤さん、長い間ご苦勞さまでした。笹川さんよろしく願いいたします。

これに伴い、会費の振込先が次のとおり、変更になります。

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振り込まれた場合は、振込日時・住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡頂けるようお願いいたします。

振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合があります。

### Mac入門講座

盛岡白百合学園高等学校の安倍先生、柳田先生、佐藤先生の献身的な努力に支えられて開催されてきたMacの入門講座が終了いたしました。

開催にご助力頂いた関係者の皆様と、快く会場と設備を解放していただいた盛岡白百合学園高等学校の方々に厚くお礼申し上げます。

特に、忙しい仕事の合間に、この講座の開催に尽力した上記3先生には本当に感謝いたします。

この講座で実力を上げた方も多いことと存じますが、受講者の方々の今後のMacintosh活用の大きな足掛かりになったことでしょう。

今期の開催はここで一旦終了となりますが、今後の開催については世話人会や総会などで皆さんと検討して決めていきたいと思っております。

### MMM'95 開催

MMM'95が無事? 終了しました。今回は常連だった諏訪さん、川村さんが欠席で寂しい気がしていましたが、インターネットのおかげで、何と米国からの参加があり、本当にインターネットの威力を痛感した出来事でした。

これは、IMFのHome PageをApple

のHome Pageに公開していただく機会に、MMM'95の開催案内を載せようとWWWサーバーに登録した翌日のメールでした!

最近WWWの更新をサポートしていますが、斉藤さんが頑張ってMMMの写真集などアップしていますので、ご覧ください。

なお、MMM'95は、次頁から4頁にわたって特集を組んでいますのでじっくりとお読みください。

今回の開催でも、色々な方々のご支援を頂きました。感謝申し上げます。



### Inside

MMM'95 (1)	2
MMM'95 (2)	4
母からのプレゼント	6
山の花	7
私のMacLife	8
Home Page	10
住まい研究会	12
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16



### MMM '95参加者一覧

(敬称略・順不同)

阿部川 久広 (Apple)	神 達宏 (IMF)
青山 雅博 (Apple)	藤澤 義榮 (IMF)
宮元 祐志 (Apple)	佐藤 学 (IMF)
青木 淳 (SRAコロラド)	滝川 順子 (IMF)
佐藤 圭 (SRA)	土村 卓 (IMF)
宮武 伸裕 (Apple Tech.)	白石 隆 (IMF)
長土居 正弘 (IMF)	高橋 浩幸 (IMF)
山本 淳 (IMF)	森 啟裕 (IMF)
佐々木 明宏 (IMF)	杉村 栄一 (IMF)
佐々木 雄久 (IMF)	高橋 哲矢 (IMF)
斉藤 秀一 (IMF)	照井 淳子 (IMF)
	徳信 亘 (IMF)
	佐藤 護人 (IMF)
	野村 行憲 (IMF)

MMM(Meet the Macintosh in Morioka)は IMF が毎年開催している Apple社のコンピュータ: Macintoshをテーマとした情報交換のイベントです。最近では参加者各自が自分の Macintosh 活用事例を発表しあう場となっています。

毎年 Macintosh 界の著名人やアップルコンピュータからの参加があり、有意義なイベントです。

今年は主催者が多忙のため、あちこち案内を出すのをサボったためか、いつもより参加者が少なかったのですが、その分だけ密度が濃かったように思います。参加された方、感想はいかがだったでしょうか？



### MMM'95 の報告 (概略)

<14:45>

開会：野村 行憲 (IMF会長)

予定時刻を15分遅れて開会が宣言された。

<14:50>

挨拶：阿部川 久広 (アップルコンピュータ株式会社、

マーケティング本部、マーケティングコミュニケーション部長)

(1) マーケティング部の概要

広告、記事、イベント、UGサポートが主な仕事。

最近の力点はライセンス・OEM。

(例) Pipin:Power Player BANDAI 12月末登場、

QT Conferencing (NTT and Apple)

コンパチブル Mac (Pioneer) および

Common Hardware Reference Platform(CHRP)

### 開催要領

主催：岩手Mac友の会有志

日時：1995年10月21日 (土曜日) 14:30~

22日 (日曜日) 10:00解散

場所：ぬくもりの里NUC (ヌック)

岩手県医療局職員互助会福利厚生施設

岩手県雫石町長山52岩手山7

Tel:0196-93-3861

参加費：1万2千円 (一泊二食付き)

(2) 新技術

○Open Doc(Open Document)

Software をコンポーネントとして扱う。

○Copland 次世代OS

システムパフォーマンスの向上

アクティブアシスタンス機能

RISC(PowerPC)

CHRP

(3) むすび

ユーザの情熱を痛感

追いつこうとして頑張っている。

MMMでは、コンピュータを使った新たな文化  
(夢のある) の話をしたい。

<15:10>

5分休憩 (トイレタイム)



<15:15>

プレゼンテーション: 宮元 祐志 (アップルサービス  
パートナー・トレーニンググループ)

(1) QuickDraw 3Dの説明とデモ

大容量<>豊富な機能

Macintoshでくれた3D表示

マルチプラットフォーム、MacOS、Windows、Others

デモ立体を自由に動かし、リサイズもできる

他のOSでも可能

(2) QuickTime VRの説明とデモ

360° 視点を回転

ズームもできる

<16:10>

5分休憩 (トイレタイム)

<16:15>

(3) OpenDocの説明とデモ

OpenDocで作るマルチメディア文書

OpenDocの特徴

コンポーネントアーキテクチャ

クロスプラットフォーム

オープン、業界標準

アプリケーション中心から文書中心

アプリケーションを切り替えるのではなく、  
文書にパートを組み込む

(4) Coplandの説明とデモ

マルチOS。完成は一年後か?

MMM 第2部 (夕食を兼ねた宴会の後)

<19:40>

講演: 青木 淳 (SRAコロラド、ソフトウェア工学研究所)

Windows95 狂想曲とMacintoshの黄昏

Smalltalkによる画像データ検索の新たな試み

<20:15>

講演: 宮武 伸裕 (アップルテクノロジー)

インターネットとFirst Class Link

<20:35>

事例発表: 藤澤 義栄 (IMF)

Macintoshの置き場

学校で購入の予定のデータ

学校でのコンピュータリテラシー醸成

20:45 参加者コメント (全参加者)

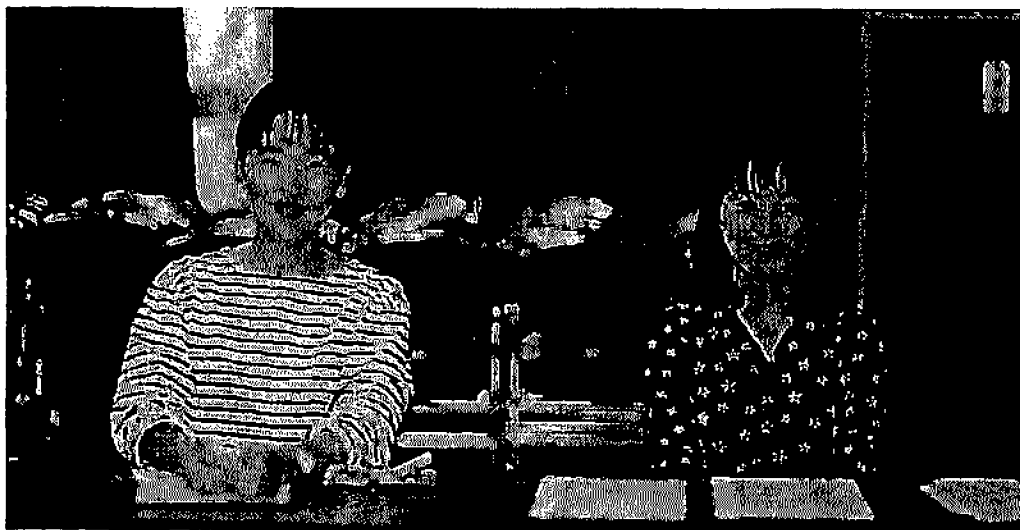


二日目は、宮武さん提供の腕時計と、Apple Magic T-シャツ  
を抽選して、MMM'95 を閉幕した。お疲れさ  
ま!

Script and Edit by



# MMM' 95へ よぐおでんした〜



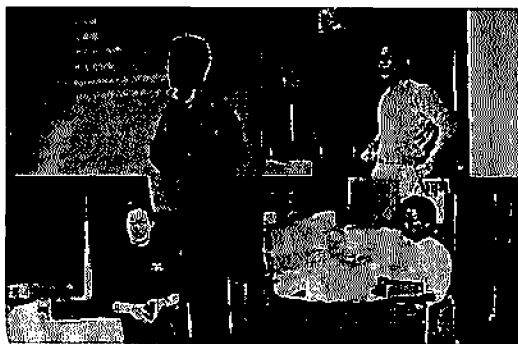
我がIMFが誇る美人受付嬢、よりこさんと、じゅんこさんでえ〜っす。

去る、10月21日（土）、ぬくもりの里NUCで行われたMMM'95の実況中継をダイジェスト版でお送りする。  
ちなみに、めぐみの部屋、およびimfサーバーには、QTアルバム&HTMLによる、フルカラー完全版が収録されている  
ので、ぜひ、そちらもご覧になっていただきたい。

Write & Edit by Shuichi Saitou



## MMM'95ダイジェスト



アップルからのゲスト、阿部川氏、青山氏、宮武氏、宮本氏。



こちらもゲスト参加の、青木氏、Dr.K氏。



え〜っと、セッティングに手間取り、若干遅れましたが・・・野村会長の、毎度おなじみの開会の弁で始まった。



楽しい話を聞かせてくれた青木さん  
ちなみに、隣に座っている徳富さんとは兄弟ではない。



プレゼンテーションに熱心に聞き入る参加者  
ときおり、するどい質問も飛び出す。



休憩時の団楽。わいわいがやがや。

## 寄せ書きコーナー

私も帰って来ました。  
土村さんには本当にお世話になりました。ありがとうございました。

野村さんは、なんといってもIMFのドン、厚力ありますね。白石さんと双壁ですね。(笑) これからも頑張ってMMMをやり続けましょう。

宮武

今回のプレゼンテーションで最高だったのは青木さんでした。  
目録の検索をするために発表したようなアイデアでやるなんて普通考えられることではありません。  
目からウロコのソフトでした。  
青木さんに私のような素人のために発表したSmallTalk用のソフトをコンパイルしてアプリケーションにしたものを作ってもらう約束をしました。あとでIMF(野村さん宛)に送るそうですので楽しみにしています。  
すごい人ですね青木さんという人は。  
白石

今回のMMMでは、アップルコンピュータがこれまでにないきちんとプレゼンテーション&デモを行ったことが印象的でした。また阿部川部長のお話と応答が真面目で通訳で良い印象を持ちました。

講演では青木 淳さんの承認Macintosh事情・Smalltalk on MacはアメリカにおけるMacの占める位置がわかり、Smalltalkではこんな可能性が有るのかと驚き、将来の夢がふくらむ思いがしました。 佐藤

Appleの方からお話を聞けて、有意義でした。クイックタイムVRの話が興味深かったです。そのうち、VR ファイルを作るソフトツールがお安く出てくることを期待しています。  
岡沢佐藤でした。



翌朝、MMM最後のお楽しみ、抽選会  
今回もまた、強運ぶりを発揮した白石さん。

やっぱりMMMは一泊に限りですね(幹事の苦労も考えず申し訳ありません)。  
役回聞けないアップルの話は面白かったけど、「どんな技術があるか」も大切だけど「それをどうやって見るか」をもう少し聞きたかった気がします。  
まさかこの先もずっとユーザーの口コミ振りって訳にはいかないだろうし、技術的に優れている製品が必ずしも売れたわけではないことは、多くの前例が証明していますから。  
夜中モードになってから個人的に聞いた話の印象では、Windows陣営の方が会社の数も規模も大きいことを免罪符にして、あまりPRに金をかける気はない、と見ましたが、さてどうなりますか。  
Coplandになっても漢字Talk.Coplandが必要で、アメリカと同時に同環境が手に入る訳じゃなさそうなのが残念なまっつどののやまもとでした。

# 母からのプレゼント

文と写真 佐藤雅子

ほぼ一ヶ月に一度、歯医者さんに定期検診に行っている。その先生の所には、主人もふたりの息子もお世話になっていて、何う都度、何かかにか家族のことが話題になる。

まだ、春も早く、風も冷たい頃のこと、休日には何をしているか、と言う話になった。先輩の先生の影響で、主人と二人でバードウォッチングに行っていて、カメラを構えて待っているんですよ、と言うことを話した。6月の検診の時、先生から、バードウォッチングはこの頃どうですか？と聞かれた。今はもう鳥の季節は過ぎて、山の花の季節なんですよ。と答えた。

「もう止めたの？」「そのときその時で楽しむことが違うんですよ。6月末から7月は山の花の最盛期、だから一緒に連れてってもらって、主人にはとても及ばないけど私も写真を撮るんです。」

「先生たちはいいねエ、いつも一緒に楽しんで」

「あのね、先生、母からのプレゼントなんです。」

「どういうこと？」

「私が結婚するとき、母が言ってくれたんです。結婚したら、できる限り夫が誘ってくれた時に付き合いなさい。家のなか散らかっていたてまわらないからって。

だから、どうしても仕事がつまって溜まってしまった時は仕方なしに一人で家に残ってやるべき仕事を片づけることを優先するけど、そうでない時は、一緒に行って、一緒に楽しむことにしているんです。私は、母のその言葉を何よりの結婚祝いのプレゼントだと思っているんです。私を山へ、写真撮

影へ誘ってくれる夫の気持ちがとても嬉しいし、いつまでも誘ってもらえる妻でありたいと思っています。誘っても誘いがいのない妻だったらやっぱり面白くないでしょう？」

「いい話ですねエ。共有する時を過ごす、帰ってからも話題が続くし、その時だけを共にしているのではなくてずっと続くものね・・・先生、先生、歯ブラシあげる。うちの女房にもその話をして。約束ですよ！」

そうは言っても、今でこそ私たち夫婦もそちこち二人で歩けるようになったのであって、子供たちがまだ家にいる間はそうはいかなかった。幼いうちは、子供会だとか、何やかやと子供たちの用事があるし、中学、高校になってからでも、子供が帰ってきたとき、日曜日ぐらいい家にいてやりたい。お父さんとも一緒にいきたい、と子供と

夫の狭間で揺れ動きもしていた。下の子が喧れて大学にはいり、二人の息子がまあ多少親離れしはじめたので、私もそろそろ子離れの練習を、と思っているところ。

後輩の女医さんが、「先生、先生。おふたりでカメラを首にかけジーパン姿で日曜日に歩いているところをみましたよ。いいなー。私も早くそうになりたいわ。」といていた。まだまだ、彼女には早い！だって、一番下のお子さんがまだ一年生なんだから。

山の花の写真、樹木の花、葉、樹型、鳥、鳥の鳴き声を楽しみ、今年の夏は、天の川を餓に、天峰山、焼け走りに行ってきた。これからは紅葉と、秋、冬の星空を楽しむつもり。まだまだ世の中には楽しいことがいっぱいある。そんなに長くない人生、夫婦で楽しみましょうよ！



今年の六月、早池峰山に登り、小田越の3合目あたりに目の覚めるような鮮やかな黄色のナンブイヌナズナに出会いました。花の大きさは直径8mmくらいで、枝先に球状に多数集まり、株全体にびっしり咲きます。茎は10cm程の高さです。

いつも見かける瓦礫の間のこの花の小群落では色も淡くつまらなく見えました。写真集の岩の間に咲くのを見て、何時かはこの様に咲くのを見てみたいものだと思っていましたが、まさしくその状態で咲いていたのです。登

# 山の花

佐藤護人

山のシーズンには早いので登山者は少なく、しかもこの様な素晴らしいナンブイヌナズナとの出会いに気付かず登っている人が殆どでした。

最近体力が落ちて35mmカメラでの登山が増え、この写真にも出来上がり

に不満がわきます。中型カメラの望遠で目一杯に絞って撮れば、そして露出補正をして何枚も撮ればと悔やまれます。この様に色々考えながら来年のシーズンを待たなければなりません。6月はヒメコザクラ、ナンブイヌナズナ。7月はじめは岩手山のコマクサ。8月は薔の花をうまく撮りたいと思っています。そう思っているだけでドキドキ、ワクワクしてきます。



# 私のマックライフ

塚野弘明

マックと付き合い始めてかれこれ6年がたつ。もっとも、それ以前もアップル[という8ビット機を7年ほど使っていたから、アップルコンピュータとの付き合いは13年ということになる。今では、マック1台あれば仕事の上で困ることはほとんどなくなっているが、当時はこうした汎用的なパソコンはまだなく、大型計算機、ミニコン、PC9801などを用途別に使い分けてきた。

## パソコンライフの節目

今までのパソコンライフを振り返ってみると、いくつかの節目とでもいえる出来事があったように思う。たとえば、アップル[からマックへの移行、一般的に言えば、8ビットから16ビット、32ビットへの移行は、パソコンが遊び心を満足させる対象から実用的使用に絶える道具へ変わったという意味で、ちょっとした「事件」だった。また、大容量メモリ、大容量ハードディスクに伴うソフトの進歩も、効率、操作性を格段に改善させてくれたという意味で、見逃すことはできない。

しかし、私のパソコンライフの中で最も特筆すべき出来事は、何といてもパソコン教育や管理に携わるようになったこととパソコンを通じてインターネットが利用できるようになったことである。パソコンの絶対性能のアップやソフトの進歩は、それがどんなに目覚ましくても、自分のそれまでの仕事の延長線上に位置づけることができる。また、パソコン通信を利用した電子メールなどもコミュニケーション

ンのモードは少々異なるが、それだけなら基本的には電話の延長線上に位置づく相手を特定できる情報交換である。つまり、コンピュータ利用以前に行っていた個人的活動の質をそれほど大きく変えてしまうということはないのである。しかし、パソコン教育や管理、インターネットの世界は、ちょっと大げさにいえば、それまでのパソコンと自分との関係、自分と他者との関係が変わってしまったのではないかという感覚すら覚えるほどの出来事であった。そこで、ここではいくつかの例を挙げて、私のマックライフを本質的に変えてしまった二つの出来事についての片鱗を紹介してみたい。

## 超初心者から学ぶ

私は職場では、パソコン初心者を対象にして講習会を毎年行っている。また、私は一応「マックには詳しい人」とされているので、ときどき「マックが壊れた」といって血相を変えてかけ込んでくる人々の相手をするところがある。そんな超初心者の一人が、ある時助けを求めにやって来たことがあった。本人いわく「コピーをしようとする」と消えてしまう。壊れたかもしれない。」というのだ。一通り説明を聞いてみると、操作のどこに誤りがあったのかはすぐわかった。どうやらワープロで入力した文章の一部分を別の場所にコピー・ペーストするときの操作の順番を間違えているようなのだ。

通常、コピーする場合には「範囲」を指定した後で、コピーコマンド、ペーストコマンドを選ばなければならない。ところが、彼はコピーコマンド

をまず選んでから「範囲」を指定してペーストしようとするのである。普通、範囲を指定しないでいきなりコピーコマンドを選んだ場合には、単にカーソルが点滅している状態、つまり「範囲なし」の状態をコピーしていることになるので、指定した部分が消えたように見える。

一方、カットの場合は「範囲」を先に選択しないと、そもそもカットコマンドが半透明の文字で表示され選択することができないので、これが自然な制約となって間違いようがないのである。したがって、カットの場合を参考にすればコピーの時の誤りに気づいても良さそうなのだが、本人はこの制約を何と「消す時の注意を促すための手続き」と解釈し「例外」と考えてしまった。したがって、コマンドを選んだから範囲を指定するという「信念」は反証されないことになり、それ故、この悪い「くせ」はなかなか直らなかったという。

ところで、このような誤った手順は、ちょっと信じられない間違いのようにも思われるが、ある意味でとても「合理的」である。すなわち、「コピーする、～を」という操作順は、英語などが採用している動詞+目的語の順序である。逆に、「～を、コピーする」という語順はむしろ目的語+動詞の順を採用する国文法に近い。こう考えると、この問題は事象をいかに時系列的に表現するかという言語学の問題に通じることになり、あながち「根拠のない間違い」とは思えなくなってくる。マックは言うまでもなくmade in USAだから、この仕組みを考えたエンジニアは間違いなくアメリカ人だろ



う。だったら前者の語順が採用されていても不思議ではないはずである。おそらく、エンジニアはプログラム制作の過程でどちらの順を採用するかを考えただろう。その時、いったい何を考えたのか。そしてなぜ国文法のような順を採用したのか。とても不思議になってくる。

マックの教育や管理をはじめから、このようなことを考えることが多くなった。これは、1ユーザとしてパソコンを利用していたときには遭遇しなかった経験である。それまで、パソコンに詳しい人から教えてもらうという経験は当然持っていた。また、自分が教える立場なのだから詳しくなるための勉強もした。しかし、ずぶの素人からパソコンについて「直接」教わることがあるとは思っても見なかった。しかし、これは自分の無知を思い知らされる恥ずかしい経験ではなく、新しい発見にも似たとても楽しい経験なのである。

## 1対多のコミュニケーション

先日、ある中学校でインターネットを使った英語の授業を見学してきた。その中学校では、まだ全校をあげてインターネットを教育に生かそうとしているわけではなく、パソコン好きの先生が何とかインターネットを生徒に触れさせたいと思い、挑戦的な試みを行っているという程度だった。だから、環境もまだ十分とはいえず、インターネットにつながっているたった一台のパソコンの画面を生徒の前の40台のモニターに写し、インターネットコミュニケーションの世界でいかに英語が利用されているかということを示すのが関の山だった。

授業はもっぱら、海外のホームページから日本に関する音声つきのファイルをダウンロードして再生するというものであった。本来なら、子どもが関心のあるテーマを自由に散策する環境が望ましいのだが、現在はまだ中学校でそうした環境を望むのは特定の学校

を除いては不可能である。もっとも、いきなり眼を覆うような画面が飛び出てくるような環境を何とかしなくては、中学生を自由にインターネットに参加させるわけにはいかないが。

それでも、子ども達は初めて接するインターネットの世界に興味津々といった様子で、目の前に展開するホームページの画面に食い入っていた。そのうちに、教師は、どんなホームページにアクセスしたいか、どんな情報を世界に向けて発信したいかについて生徒一人一人に聞き始めた。徒たちは、まわりの仲間と相談しながらサッカーやバスケットボールなどの自分たちの興味ある対象について生き生きと語り始め、授業は一見、盛り上がったかに見えた。ところが、自分たちのどんな情報を発信したいかという発問のところで生徒たちの発言は「びたり」と止まってしまったのである。教師は、あらかじめ授業案の中で生徒に情報発信計画を立てさせようともくろんでいたため、この予想外の展開にとまどい、恐怖の静寂の中、多くの参観者の前で明らかに冷や汗を流し始めていた。結局、授業はこの後の展開とまとめが尻切れトンボになってしまい、案の定、授業後の研究会の中で、この若い英語教師は文字どおり「血祭り」にあげられた。

それにしても、どうして生徒たちは情報発信計画を立てようとしなかったのだろうか。自分たちがアクセスしたようなホームページと同じ様なものを作ればよいのだから、いきなりすばらしいものとは言わないまでも、「あれやこれや」という程度は出てきてもよさそうである。しかし、自分なりによく考えてみると、この生徒たちの「とまどい」は、実は非常に深い意味があったのではないかと思われてならない。

私自身のインターネットの利用方法を考えてみると、世界と双方向の通信をやっているように見えながら、実は一方向的な情報収集が中心になっていることに気づく。もちろん、情報発信

を全くやっていないわけではないが、やはり比重は従来のデータベースからの情報収集モデルでインターネットを使っているのである。

インターネットは、おそらく我々人類が初めて経験する通信形態ではないだろうか。今まで、1対多のコミュニケーションやブロードキャストが行われていたのは、特定の人々だけに許された既成のマスコミの世界だけであった。おそらく、こうした世界に住み着いている人たちは、情報発信の中心に位置することの特殊性、メリット・デメリットを肌で感じているに違いない。しかし、インターネットの世界では、巨大な通信装置やスタッフなしに末端の匿名の個人がブロードキャストできるようになる。しかも、バーチャルリアリティを利用すれば自分が個人であることを隠し、大企業のホームページと対等な権利を持つことさえできる。

今まで、不特定多数の人に情報を伝えることに「やっき」になった世界があるとすれば、それは広告の世界であろう。これは、現在のマスコミがほとんど広告で「食べている」ことを考えれば明らかである。だから、インターネットが本格的に商用に用いられるようになれば、間違いなく猫も杓子も参入してくるに違いない。まさしく、現在のインターネットの炎に油が注がれることになるだろう。しかし、インターネットが従来の活動の延長線上で考えられている限り、結局、データ収集と宣伝のための情報提供だけに終始してしまう可能性がある。

しかし、インターネットの斬新さは、すべての人が1対多のコミュニケーションを行えるところにある。これは人類が初めて経験する新しい「他者」との関係である。この特定できない相手との対話に対する「おののき」を敏感に感じとっていたのは、他ならぬ授業の中で言葉を失ってしまった中学生たちではなかったかと思われてならない。

(編集 藪 敏裕)

# IMF Home Page 真末記

文章・編集 佐藤 亨

## Home Page 真末記

### IMFにおける情報伝達の歴史

岩手 Mac 友の会創生期、会員相互の情報交換は、現在「例会」として位置づいている、いわば、Macに関する井戸端会議的なものが中心であった。Mac のユーザー自体がごく小人数であったため、Mac ユーザー同士が直接顔を合わせるこの方法は、理にかなっていたといえる。

従って、その情報の流れは相互方向ではあったが、時間と場所はおのずと制限されていた。これを IMF における情報の「村社会」成立期という。

しばらくして、Mac が Mac たちしめている能力の 1 つである、DTP (デスクトップパブリッシング) 能力に目をつけた会員が「会報」の発行を思いつく。

「会報」の発行によって情報の流れは一方向に限定されるが、時間と場所の限界を広げることが可能になった。また会報が、ハードコピーで配布されたため、会の情報は会員以外に広がる可能性が大きくなった。

この「会報」こそ、現在の「林檎」であり、現在でも会の情報の主な発

信源になっている。また、この「林檎」がほしくて、会員資格をとっている人も多い。

また「林檎」の発行は、会報発行に携わる会員の情報の編集技術を高める効果もあった。

これを、IMF における情報のマスメディア化という。

次に登場した情報の媒体としてパソコン通信というものがあげられる。IMF の場合、盛岡市が実験的にはじめた、「盛岡 BBS」に協力便乗する形ではじまった。当時パソコン通信がパソコンユーザーの間でメジャーなものになり、草の根 BBS も各地でさかんに立ち上がった時期である。

このことによって、情報の発信は事実上「個人」となり、情報の流れも相互方向性が強くなった。

また、会員の手による「Hyper Term」というすぐれたブラウザが、「盛岡 BBS」の利用を簡便なものにした。この功績はまさに大である。

これを、IMF における情報の「Hyper Term」化という。

しかし、「Hyper Term」の時代は、思いの外短かった。IMF 独自の BBS 「めぐみ」ネットの立ち上がりである。

「盛岡 BBS」が 1200 ボーという通信速度で、テキストオンリーだったのに比べて、「めぐみ」は当初から 14400 ボーという通信速度で、Mac のシステム同様 GUI (グラフィカルユーザーインターフェイス) の環境下で動作し、扱うファイルの種類も選ばなかった。

これにより、情報交換の自由度はさらに大きくなった。これを、IMF における「情報ハイウェイ」準備期という。



長さん宇佐見さん向石さん

そして、「インターネット」の立ち上がりとなるのである。

これには、盛岡白百合のインターネット 100 校プロジェクトと岩手大学の通信環境整備が同時に進んだこと、そして、白百合の阿部先生、岩手大学の藪先生というマンパワーが大きく寄与している。

このほか様々な条件がうまく整い、また IMF 会員のもつ発展性を求める気質があいまって、インターネットへとつながったものと思われる。

これを IMF における「先見の明あり (仮説)」という。

IMF 岩手 Mac 友の会

これが IMF のホームページ!

## Home Page ができるまで

インターネットの最大の特徴は、情報の発信源がインターネットに参加する総ての人(団体)である。ということである。

我々 IMF もインターネット上に情報を発信する権利があるのであり、また情報を発信するべきと考えられる。と難しいことを考えず、インターネットに発信することは、直接全世界に発信することなんだ! と考えると、なんと爽快なことではないか!?



私たちの HomePage は、岩手大学と白石食品との共同研究という形で運営されている。



某月某日。

岩手大学において、インターネット接続に関する学習会が開かれる。ここで、具体的にインターネットとはなにか、分かったような気になる。実際に自分でインターネットの窓を開いてみて、あっけなく世界につな

がることに驚嘆。

某月某日。

ホームページたち上げの具体的手順を学習する。

Mac は現在のシステムに標準の機能で、インターネットにつながることを知り、改めてその先進性に驚く。

某月某日。

ホームページ作成のため HTML の講習を受ける。タグさえ覚えれば、きれいなレイアウトや構成ができ、汎用性の高さに関心する。ただ慣れないせいもあるが、昔 Basic をいじったのを思い出す。

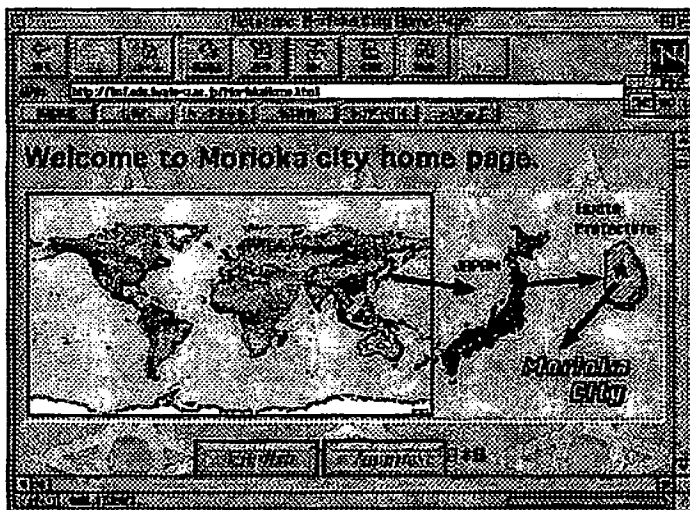
某月某日。

カワトクデパートでのマルチメディア展での公開を目指し、ホームページの体裁を整えるため有志集結。ちらし寿司を食べつつ HTML 編集に情熱を傾ける。

斉藤氏の写真や盛岡市のパンフレット等からイメージを選択し、ホームページに張り付ける。バックグラウンドがつき、リンクも張られて、ホームページらしくなる。

## Home Page は成長する

Home Page が情報の発信基地である以上、Home Page 上の情報は、更新、追加され続けるものである。今後も IMF が存続する限り、IMF の Home Page は成長し、全世界へ情報を発信し続けるのである。



バイリンガルなのだ

WebSite by M&S



# 住まい研究会の紹介

長土居正弘

## MMMは

会長、幹事様のお世話で毎年快適に、そして刺激的な時間を共有出来ている事に感謝いたしております。ことしのMMMは私にとって背木氏の画像データベースに関するプレゼンテーションが強く印象に残りました。それはMacとの出会いの時と共通していました。画像データベースが進化すると目的地を指示すると居眠りしていても走っていけるオートドライブの車の出現など近未来の夢の技術と感じました。

背木氏はスピーチの中で今までMacに投資した金額が一千数百万と話されておりました。その金額に驚きましたがメンバーの中にはそれに近い方もいらっしゃった様でまたまたオドロキです。話題を変えます。

## 空気は食べ物、

新鮮な空気は活力の源です。

とドイツ人は表現します、私も初めてこの言葉に触れたとき理解できませんでした。最近では都市化が進み排気ガス量も増加してその意味が盛岡でも感じられる様になってきました。森の中の空気、清流のほとりの空気は【おいしい空気】と感じます。室内で【おいしい空気】を食べていますか、換気の仕方によっては【おいしい空気】とまずい空気を混ぜて食べています、以外と気付いていない落とし穴です。

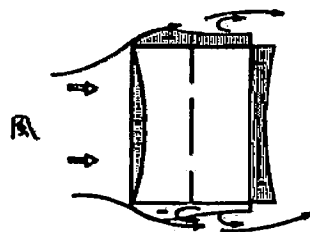
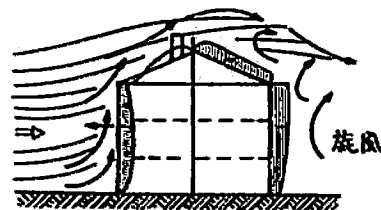
皆さんの目の前に美味しいモノとまずいモノが有ったら混ぜて食べる人はいないと思います、出来れば美味しいもので満腹したいと考えるでしょう。しかし空気となると混ぜて食べてしまっている事がとても多いのです。

そこで換気のことをお話致します、

## 換気と言うと

窓を開ける派から始まり換気扇派、システム換気派、又換気の度なのでタバコのみが大勢訪問した場合は窓を開けるなどの必要が出ます。冬に窓を開けると聞くと抵抗を感じる方が居ると思いますが、窓の種類はとて多く暖房しながら換気が出来る窓のアイデアも有ります、窓に関心がある方は犬飼道子著「セーヌの左岸」をご一読下さい。

フレッシュ空気の吸気口は居間、寝室、子供部屋など新鮮空気の必要な部屋に配置し、排気口は、臭いや水蒸気の出る便所・風呂・クロゼット等に設置します。吸気口の設置はヒータの上にするとうるむの気流感を和らげてくれます。と言うわけで冬の暖房は空気を混ぜない動かさない暖房方式と層状換気のアイデアを使うことが良いよ



この様な事を話し合う研究会が有ります、宜しかったらご参加下さい。ここに紹介いたします。

## 住まい環境研究会

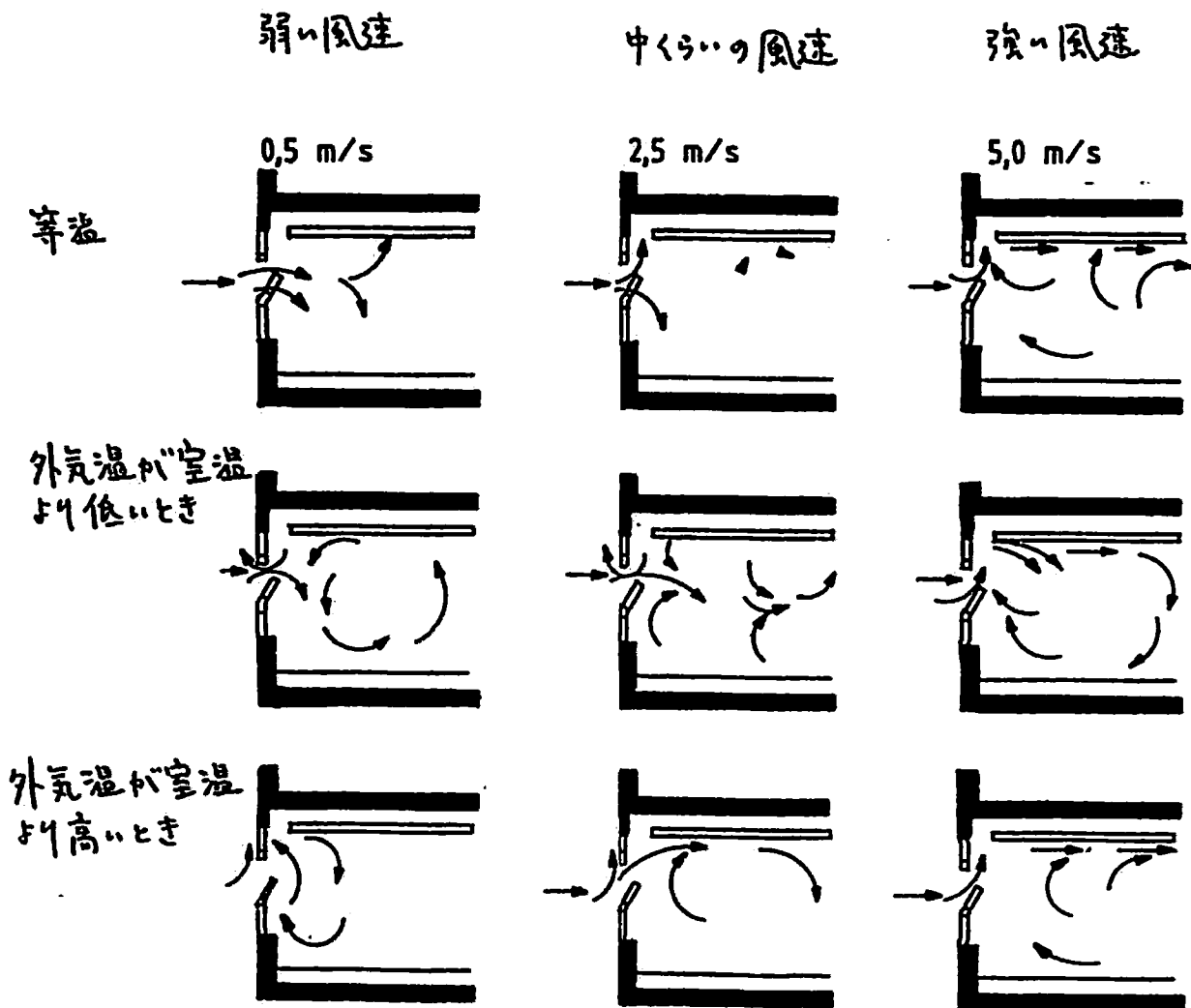
と呼びます、会の発足は'94.6.18の日経新聞に「家が腐る」という記事が掲載されたことがキッカケに成りました。身の回りには、住まいが寒い、結露する、燃費がかかる、夏は暑くてクーラー無しでは、居られない等の声も良く耳にします。そこで現在の発起人が話し合い、納得のいく家を誰でも手に入れられるような環境を岩手に造ろうと始めました。

住まい研究会の当面のテーマとしては、基本といわれている、冬、春、夏、秋を通じて快適で、ランニングエネルギーの少ない建物を誰でも手に入れられるよう啓蒙活動をしていく。研究を始めるのではなく価値観の見直し、組み合わせ技術の見直しで多くの問題を解決出来ると確信して活動して居ります、Network System(情報の共有化)を中心とした活動を展開していく研究会です。参加資格は誰でもokです特に制限は有りませんが年会費が1000円かかります。住宅、建築に関心のある方、建築の専門家、設備の専門家、研究者、福祉に関心のある方。家をこれから建てるがアドバイスが欲しいという方も歓迎です。研究会の開催場所は新築された住宅、新しい建築物、古い建築物、参加メンバーの会社・施設等々不定で出来るだけ現場で実践しながら進めたいと考えております。

月1回/定例情報共有会・その他/不定期

会長・安藤 昭・岩手大学工学部・  
 建設環境工学都市計画  
 幹事・相澤 徹(岩手県商工労働部工  
 業課)/村木治彦(テクノポリス財団)/長  
 沢 由喜子(岩手大学)・湯本貞子(盛  
 岡短期大学)/岩岡重樹(ATOM建築環境  
 工学研究所)/植田優(植田優建築工房)

長土居正弘(東北ピーエス) 連絡先  
 TEL0196-53-3780



温度及び風速がさまざななときの、自然換気の気流の原則的図解

---

# 林檎ギャラリー



# 編集後記



久しぶりに編集に参加しました。未だにインターネットのなんたるかよくわからないまま記事を書いてしまいました。変な文章になってしまいました。

錦沢佐藤



Windows95の強力な波が押し寄せてきていますね。βとVHSの戦いのような気がします。「売れてるのが良い物」であって「良い物が売れる」とは限らない。

Windows95一皮ムケば....なのにな。

野村



今回は、写真ソースがふんだんにあったので、らくちんでした。同じソースを使って、最初にHTMLでインターネットネタにしました。その後、QTアルバムでアプリケーション化しました。そして最後に、林檎ネタにしました。一粒で3度おいしい!びるげ〜つが、金力にモノを言わせて画像の版權を買い漁っていると。目のつけ所が良い。

斉藤



MMMの特集では写真が多くて見やすくなっていました。塚野さんのMac lifeはインターネットのなんたるかを教えていただきました。これで今年最後の林檎も無事に発行できました。皆様ありがとうございました。

佐藤



今回から、このページを担当することになりました。一応、名簿も最新版を掲載しました。これからもよろしくお願ひいたします。MEGUMIの方のご利用もお願ひいたします。

土村

# 会員名簿

浅田 昌裕	IMF035	北上市	渋谷 芳三		盛岡市
浅沼 清智		花巻市	白石 茂隆	IMF201	盛岡市
浅利 尚志		盛岡市	白石 道生	IMF039	盛岡市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	白沢 忠雄	IMF207	盛岡市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	菅原 栄一	IMF124	花巻市
阿部 好功	IMF203	盛岡市	杉村 峰秀	IMF036	盛岡市
池内 達	IMF210	盛岡市	杉村 裕之	IMF113	花巻市
池田 学	IMF114	浦安市	鈴木 正		盛岡市
石田 安		盛岡市	外川 浩一郎	IMF224	盛岡市
一井 誠	IMF122	盛岡市	高島 晃	IMF012	盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	高橋 浩幸	IMF031	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	高橋 和美	IMF091	盛岡市
祝田 明子	IMF227	盛岡市	谷口 修	IMF221	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	田村 浩保	IMF242	盛岡市
内澤 稲子	IMF217	盛岡市	千葉 弘明	IMF126	盛岡市
大木 哲	IMF206	盛岡市	塚野 中	IMF204	盛岡市
神野 登	IMF044	二戸市	上村 明功	admin	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	寺田 芳夫	IMF068	弘前市
神 遼安	IMF229	盛岡市	照井 明人	IMF026	花巻市
菅野 研一	IMF211	宮古市	遠山 亘	IMF200	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	徳富 文彦	IMF015	花巻市
工藤 聡	IMF094	盛岡市	戸田 幸雄	IMF234	盛岡市
国光 勇美	IMF243	盛岡市	永澤 忠助	IMF118	盛岡市
久保 司	IMF235	山形村	中島 正弘	IMF236	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	盛岡市	西土居 光茂	IMF087	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	西島 聡彦	IMF017	盛岡市
小松 寿夫	IMF102	仙台市	根本 行彦	IMF042	札幌市
近藤 英一	IMF226	紫波町	野村 晃	IMF000	盛岡市
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	辰谷川 純	IMF240	花巻市
斎藤 博之		盛岡市	花立 和彦	IMF246	矢巾町
笹川 順子	IMF220	盛岡市	福井 義榮	IMF218	盛岡市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤澤 洋	IMF209	花巻市
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	藤村 裕一	IMF028	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	古川 健一郎	IMF225	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	本多 三浦	IMF025	盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	村上 誠一		盛岡市
佐々木 眞嗣	IMF247	盛岡市	村上 安文	IMF250	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 康司	IMF099	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	本館 久弥	IMF013	花巻市
佐藤 雅子		盛岡市	柳田 敏裕	IMF231	石巻市
佐藤 学	IMF119	盛岡市	藤 敏裕	IMF214	盛岡市
佐藤 透人	IMF010	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市			(1995.11.10現在)

# 訂正とお詫び



林檎の会員名簿が間違っておりましたのでその部分の訂正をお願いします。会員の皆様には、失礼やらご迷惑やらをおかけいたしました。お詫び申し上げます。

## 【報告】

MEGUMIでは、報告しておりましたが、今まで会計と会員管理という大変な仕事を引き受けていただいていた工藤 聡さんが転職になったため、この仕事を笹川順子さんに引き継いでいただきました。これに伴い、会費の振込先が変更になっています。

## 振込先(郵便貯金総合口座)

口座:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合があります。

